

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【和気小学校】

<第4学年：和気っ子エコ大作戦>

社会科の学習「すみよいくらしをつくる」で「水」への興味・関心をもった児童は、「水のおはなし教室（出前授業）」の話を聞き、水の大切さを実感し、自分たちが水を大切にするためにできることは何か考え、取り組みました。そして、校区に同じ川が流れているみどり小学校の4年生とリモート交流をし、自分たちが取り組んだ内容を伝え合いました。その後、「わたしたちの周りの環境について見つめ直そう」という課題についてそれぞれの学校の児童が調べたことをもとに伝え合い、自分の地域の環境をよりよくするため、自分にできることを考えました。児童の意見や考えをまとめたキーワードをもとに、共通点や相違点に目を付けながら意見を交流しました。身近な環境を調べ、地域を改めて見つめ直すことで、児童は、今まで知らなかった地域の自然のよさや問題点に気づき、環境問題を身近にとらえ、自分ができるところをしようという思いをもつことができました。

自分たちが水を大切にするためにできることは何か考え、取り組みました。そして、校区に同じ川が流れているみどり小学校の4年生とリモート交流をし、自分たちが取り組んだ内容を伝え合いました。その後、「わたしたちの周りの環境について見つめ直そう」という課題についてそれぞれの学校の児童が調べたことをもとに伝え合い、自分の地域の環境をよりよくするため、自分にできることを考えました。児童の意見や考えをまとめたキーワードをもとに、共通点や相違点に目を付けながら意見を交流しました。身近な環境を調べ、地域を改めて見つめ直すことで、児童は、今まで知らなかった地域の自然のよさや問題点に気づき、環境問題を身近にとらえ、自分ができるところをしようという思いをもつことができました。



<第6学年：手をつなごう 世界の人々>

「外国人を招き、外国の様子を聞いたり和気のことを紹介したりしよう」と課題を設定し、外国人の出身国や行ってみたい国、和気小学校や和気地区の知らせたい文化や生活について調べ、プレゼン等にまとめて発表しました。また、日本の伝統的な遊びを行う計画を立てる中で、日本のよい風習を再確認する機会にもなりました。交流会では、知っている英語やジェスチャーを用いて、留学生と積極的にコミュニケーションを図る姿が見られました。お互いの国の紹介をすることで、その国の文化や特色に興味をもったり、理解を深めたりすることができました。また、和気地区を紹介する活動を通して、自分たちの住む地域への愛着やよさを改めて感じるすることができました。

